

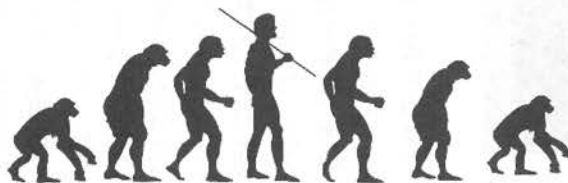


発行所
日本聖公会 東北教区
仙台市青葉区国分町2-13-15
TEL 022-223-2349
FAX 022-223-2387
URL <http://nssk-tohoku.com/>

シリーズ「東北の信徒への手紙」

人間は退化したのか？

司祭 パウロ 渡部 拓



新型コロナウイルスが広がる世界にあつて、私の頭の中で繰り返し響いてくる聖書の言葉があります。それはヨハネ福音書3章1節以下にある、所謂「イエスとニコデモ」と題されている箇所です。中でも「年をとった者が、どうして生まれることができましょう。もう一度母親の胎内に入つて生まれることができるでしょうか。」というニコデモの言葉と、イエス様の「はっきり言つておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」という言葉に様々なことを考えさせられるのです。

このことのきっかけは、ある情報番組のコメントーターの発言を思い出したからでした。それは現在の世界にはびこる「自己中心主義」「国家主義」過剰な「経済優先主義」を取り上げ、「人類は20世紀に入り、大戦や悲劇を体験し

ながらも、何とか生み出した自由や博愛、平等といった精神性、世界で一つになつていくとする意識を獲得してきた、しかしせっかくなかなかその進歩が近年では失われつつある、人類は退化している。」といった主旨のものであったのです。

私は思いました。人類という一つの種は、その進化の限界に達してしまつたのだろうか。ほんの少し前までは、人類の進歩は誰も疑つていなかった。その科学技術も精神性も、これからどんどん進歩し良くなつていくと、世界が信じて

いたように思います。しかしながら今現在は急激にその展望は色褪せて、どこか閉塞感が漂い、これ以上先に進むことが出来ないのではないかと、この恐れが鎌首をもたげる世界になりつつあるように感じる。さらにコロナウイルス禍での為政者たちの姿、自己中心主義に陥つてしまつていく個々の人々の姿を目の当たりにするにつけ、それは確かなもののように感じてしまふのです。

そしてその様な今の人類の姿は、成長することも、進むことも出来なくなった「年をとった者」であるように思えてならないのです。その様はニコデモがイエス様に言ったように「どうして新しく生まれることが出来るか」という姿であり、普通に考えるならば、年長いたものはこれ以上成長することは無く死にゆくものであるし、進化が止まつた種はゆるやかに退化して滅びていくしかないという、どこか絶望的な姿です。

しかしながら聖書はそんな絶望に希望を与えてくださいます。それが冒頭でも上げたいエイス様の「新しく生まれなければ、御国を見る事が出来ない」という一見不可能に思える言葉が、同時に「神はその独り子をお与えになつたほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」という言葉により、信仰によって可能になると転換されていることから分かれます。

この希望は、この世界の常識であれば、もはや緩やかな衰退を待つだけに思える私たちにあつても、神様は今この状況をすらも「新しく」することがおできになる。それもイエス様を遣わされることで、信じる人を全て新しい創造でお救いくださるという希望です。

今の世界はどこに向かうのか全く分かりません。しかし私たちが信仰を持ち続ければ、必ず神様の新しい創造の下で「天の国」に近づいていくことが出来るのだと信じて、皆で共に進んで行ければと願っています。

(福島聖ステパノ教会・小名浜聖テモテ教会 牧師)

追悼アントニオ 影山博美司祭



司祭 ヤコブ 林 国 秀

主よ、永遠の平和を
彼にお与えください

雨がしとしとと降る5月20日の昼下がり、いつものようにメールチェックをしていると「訃報」というタイトルのメールが常置委員長から届いているのに気づきました。どこの教会の信徒の方が逝去されたのだろうかと思いがながら、読み始めますと「仙台基督教会 牧師 司祭 アントニオ 影山博美師が、本日午前10時58分に急逝されました。」と書かれていました。明確な内容の文章なのですが、何度読んでも受け止められない、何かの間違いに違いない、いや、嘘であつてほしいという思いが渦巻き、足を震わせながら暫くの時が過ぎ、妻にも知らせると、絶句したまま言葉が出てきませんでした。その後、幾人かの方々と電話で話をしましたが、影山司祭さんは確かに逝去されたという知らせ

を事実として受け止めざるを得ないこととなりました。影山司祭様は、私より3学年年上で、同じ年度に東北教区聖職候補生となり東京と京都の違いはありましたが、同じ1983年に神学校に入学、1986年に卒業いたしました。ずっと私は「影ちゃん」と呼んでいましたが、影山司祭さんは私のことを何故か「くにひでくん」と呼んでいました。京都の神学校で緊張の中で勉強していた私を気遣い、当時は携帯電話やメールなどはありませんので、しばしば手紙をくださり、「東京にきて、ほくはもうすつかり、ひょうずん語になりました」などといつも笑わせ、励ましてくれるという優しい兄貴のような存在でした。

神学校卒業後の初任地は影ちゃんが郡山で、私は会津若松となりました。比較的近くでしたので、たまに中間地点の猪苗代で会って、おいしい蕎麦を食べたりしました。その後、執事試験、司祭試験の受験と一緒に、執事按手、司祭按手も一緒でした。按手は同じ日なのですが、按手順は影ちゃんが先でしたので、私はいつも影ちゃんのとおりです。これまでも、教役者として三十数年歩んでまいりましたが、一人で歩んできたという感覚が薄いのは影

ちゃんのお陰と改めて思います。今から5年ほど前、仙台で行われた教役者の大斎黙想会で講師を務められた時、自身の弱さをさらけ出してお話しされ、そこに注がれる神様の恵みのありがたさを伝えてくれましたが、弱さを誇れる影ちゃんは本当の聖職者であつたと思います。どうぞ天国で待っていてください。「え(い?) ふりこきすなよ」と叱つてくださったことを思い起こしながら歩いてまいります。みんなに愛された影山司祭さん、どうぞ天のみ国において安らかにお休みください。



常置委員会報告^{5/23}開催

■主事会議関連報告

執行機関の活動再開に向けた主事会議からの働きかけについて対応を報告。公開礼拝の再開に際して「教区諸活動ガイドライン」の作成を常置委員会に提言。

■主教諮問事項兼協議事項

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う今後の教区対応について

東北教区内の罹患現況から見ても公開礼拝再開が相応しいとの見解が示された。但し予断を許さない状況にあることには変わりないことから、教区としてガイドライン策定は必須であると考え、これを配信した後の再開とするのが望ましいとの見解に至った。今後は「主教書簡No.5」の配信、ガイドラインの配信を経て、6月7日の主日より主日礼拝を再開することを確認した。

(2) 影山博美司祭逝去に伴う対応について

仙台基督教会、磯山聖ヨハネ教会、新庄聖マルコ教会の牧師、管理牧師について主教より諮問を受け協議。

堅 信

2020年6月7日 仙台基督教会



左から大槻さん、

吉田主教

「堅信を受けて」

トマス 大槻 悦夫

『醜いアヒルの子』

なぜボクがこの群れにいるのか分かりませんでしたが。群れの中でボクだけ形も羽の色も違うことは分かっています。悪口を言われて落ち込んでいても皆に従いました。でも、泳ぎも餌を取ることも下手でした。この池の群れの中で生きることに考えられませんでした。群れの中で勝たなければなりません。心を硬い殻で包み一人戦いました。でも、所詮泥水に埋まる宿命と諦めていました。

ある日、別の群れの中にいました。「泳ぐだけじゃ

なく飛んでみようよ」とその中の一人に言われました。羽をバタバタしても皆の様に飛べませんでした。そして、「そんなに焦らずゆっくりやってみよう」と言われました。何度ものども練習したら飛べるようになりまし。高く飛んでみたら遠くに大きな池が見えました。「あれは海、私たちはその向こうの国に行く、そこはカミの国だ」と教えてくれました。そして、「リーダーと一緒にカミの国へ行こう」と言ってくれました。

長谷川司祭様はじめ聖職の皆様の実摺なお教え、信徒の方々の温かいお支えにより教会の家族に加えさせていただきましたこと心より御礼申し上げます。生まれ変わりの実感に心湧き立つ嬉しさを感じております。しかし、信仰は上記の通り依然心許ない者ゆえ、教父母様より賜った「信じない者ではなく、信じるようになりなさい」のお言葉を心に刻み、信仰を深めていきたい、何卒皆様のお導きを賜りたくお願い申し上げます。



シリーズ
わたしの道の光

入信の切っ掛け

盛岡聖公会

パウロ 相澤 洋



故郷の室根の教会は、1936年に高橋菊代

伝道師が自宅を開放し、日曜学校と伝道をはじめたことから始まりました。菊代伝道師の働きは多くの方の支援を受け、

1954年には仙台からウィリアム・ドレーパー司祭が折壁での礼拝に来てくださいました。私は当時、ドレーパー司祭を折壁駅に迎え、日曜学校に一緒に参加することが課題でした。この働きを見てドレーパー司祭がルイジアナ教区に募金を働きかけ、菊代伝道師からも聖堂建築資金として献げられた献金を基に、聖堂が建立され、1960年11月23日に礼拝堂聖別式が挙行されました。当時の信徒は7名でした。

私は1956年BSA会長であった伊達宗浩先生の導きで、東京教区の三光教会にて大勢の信徒、青年の皆様にも、伊達ご夫妻の教父母のもと、洗礼に預かりました。当時の三光教会では教会歴の深い青年諸兄に恵まれ、4年間の学生生活をつつがなく送ることができました。卒業後、故郷の銀行に就職が決まり、以降教会も盛岡聖公会にお世話頂いております。室根聖ナタナエル教会は、現在盛岡聖公会の林国秀司祭

の管理下にあり、多忙の中、室根に出張礼拝を献げておられます。

3月11日には東日本大震災記念礼拝のため、地元の信徒と一緒に祈りの場を設定し、私も司祭と同伴いたしました。

現在幸いにして礼拝堂の守り人が信徒の中で誕生し、礼拝堂隣の高橋富子さんの旧宅を改造した家に住いながら、礼拝堂の管理も行っていただいております。30代の若者です。

また、立教大学のBSAが礼拝堂の和室12畳を夏季、冬季に利用してくれています。小さな村の、小さな教会ですが、近所の皆様から「最近夜に明りが灯り、近所も様変わりして安堵しています。」の声が寄せられ、いよいよ神のみ言葉を広く地域に伝道する機会が来しました。盛岡からも微力ながら参加いたしましょう。神のみ言葉が広がるよう祈ります。

現在信徒は3名ですが、仙台、盛岡の教会と連絡を密にして、信徒の広がり祈るべく、努力したいと思っております。

公 示

救主降生2020年5月23日

日本聖公会東北教区主教
主教 ヨハネ 吉田雅人

下記の人事異動を発令します。

主教 ヨハネ 吉田 雅人

2020年5月23日付 仙台基督教会、磯山聖ヨハネ教会管理牧師に任命する。

司祭 ステパノ 涌井 康福

2020年5月23日付 新庄聖マルコ教会管理牧師に任命する。

司祭 ドミニコ 李 贊熙

2020年5月23日付 仙台基督教会及び二伝道所において礼拝協力を委嘱する。

主教 ヨハネ 加藤 博道

2020年5月23日付 主教ヨハネ吉田雅人のもとで仙台基督教会及び二伝道所において礼拝協力を委嘱する。ただし、法規第53条第2項を準用し、任期は1年間(2021年3月31日まで)とする。

司祭 ピリポ 越山 健蔵

2020年5月23日付 主教ヨハネ吉田雅人のもとで、仙台基督教会において、嘱託司祭として勤務することを委嘱する。聖ペテロ伝道所居住とする。また主教ヨハネ吉田雅人のもとで、磯山聖ヨハネ教会において礼拝協力を、並びに司祭ドミニコ李贊熙のもとで、仙台聖フランシス教会において礼拝協力を委嘱する。ただし、法規第53条第2項を準用し、任期は1年間(2021年3月31日まで)とする。

永遠の平安

クリスティーナ 金田一 三保
(6月2日・盛岡)

◇7月12日(日)は「海の主日」です。すべての船員の安全と福祉のため、またそれを支える団体・人々のため、祈り、献金をお献げください。

7月逝去者記念聖餐式

7月14日(火)午前10時

於 主教座聖堂

司式 吉田 雅人 主教
説教 李 贊熙 司祭

司祭 松島 篤

1943年7月5日逝去

司祭 ペテロ片岡 常吉

1973年7月11日逝去

司祭 ヨハネ野村 義雄

1962年7月14日逝去

司祭 William F.Madeley

1939年7月22日逝去

司祭 ペテロ佐藤 公平

1981年7月26日逝去

司祭 James Hubbard Lloyd

1951年7月27日逝去

執事 ペテロ林 国男

2010年7月30日逝去